



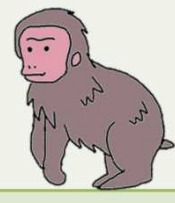
加害動物の生態について

～イノシシ・シカ・サル～

平成29年4月

群馬県鳥獣被害対策支援センター

対策は、相手の目線に立って講じることが基本です。まずは加害動物の生態を良く知り、効果的な対策を行いましょう。

動物	イノシシ 	ニホンジカ 	サル 	
食物	雑食性。 人間が食べるようなものは何でも食べる。 イモ、タケノコ、イネ...	草食性。 植物はほとんど何でも食べ、量は1日3kg。	雑食性。 カボチャ、トウモロコシなど甘くて栄養価の高いものを好む。	
能力	成獣は1m以上の跳躍力がある。 20cm程度の隙間は潜り抜ける。	助走なしで1.5mの跳躍力がある。	木登りとジャンプが得意。 学習能力が高く、農作物の味を覚えていくので、被害が広がっていく。	
繁殖	年1回、春に4～5頭出産。 約半数が成獣に成長するといわれる。	年1回、5～6月に1頭出産。満1歳で性成熟し、毎年出産する。	2～3年に1回、春に1頭出産。 栄養状態が良いと毎年出産。	
特性	「猪突猛進」はパニック時の姿。普段は警戒心が強く臆病。	昼夜を問わず2～3時間採食、2～4時間反芻するリズムを繰り返す。	群れで行動し、行動範囲は定まっている。 群れはメスと子供を中心に構成され、群れの行き先はメスが決める。	
行動	夜行性ではない。 明け方や夕暮れ時に活動が活発。昼間は人間を警戒して出て来ないが、安全だと分かると昼間でも出没する。 防護柵などの障害物は、まず 隙間や下をくぐり抜けようとする。		日の出から日没までの明るい時間だけ。 夜間は行動しない。	
対策	電気柵	○ 3段以上	○ 5段以上	△ 7段以上またはネット状
	金網柵	○	○ 150cm以上	× 電気柵との複合柵なら効果あり
	ネット柵	△ 破られる	○ 150cm以上	× 登られてしまう